

## 令和3年度広島県献血推進審議会議事録（概要）

- 1 日 時 令和4年3月22日（火） 13時から14時05分まで
- 2 場 所 広島市中区千田町二丁目5番5号  
広島県赤十字血液センター2階研修室
- 3 出席委員 19名（○：会長）  
西本 博之 委員（広島県議会 議員）  
杉原 清香 委員（広島大学原爆放射線医科学研究所 助教）  
○落久保 裕之 委員（一般社団法人広島県医師会 常任理事）  
土谷 晋一郎 委員（一般社団法人広島県病院協会 常任理事）  
木下 栄作 委員（広島県 健康福祉局長）  
富永 六郎 委員（広島県教育委員会 学びの変革推進部長）  
大林 秀則 委員（広島県公立高等学校長協会 副会長）  
徳本 博志 委員（日本労働組合総連合会広島県連合会 副事務局長）  
石松 大介 委員（西日本旅客鉄道労働組合広島地方本部 執行委員長）  
藪本 敬士 委員（JAM山陽広島県連絡会 会長）  
齋藤 俊治 委員（公益社団法人広島県労働基準協会 専務理事兼事務局長）  
山本 幸 委員（広島県地域女性団体連絡協議会 理事）  
佐藤 均 委員（一般社団法人広島県環境保健協会 理事長）  
小池 英樹 委員（社会福祉法人広島県社会福祉協議会  
常務理事兼事務局長）  
酒井 伸治 委員（公益財団法人広島県交通安全協会 専務理事）  
杉田 裕 委員（ライオンズクラブ国際協会 336-C 地区  
広島平和ライオンズクラブ テール・ツイスター）  
鉄村 忠基 委員（広島市献血推進協議会 副会長）  
泉水 直 委員（日本赤十字社広島県支部 事務局長）  
山本 昌弘 委員（広島県赤十字血液センター 所長）
- 4 議 題 ◎報告事項  
・広島県の献血状況  
・令和3年度広島県献血推進計画に対する実施状況  
・赤血球及び血液製剤の在庫状況  
・県内の献血の現状について  
◎審議事項  
・令和4年度広島県献血推進計画の策定について
- 5 担当部署 広島県健康福祉局薬務課製薬振興グループ  
TEL (082) 513-3223（ダイヤルイン）
- 6 会議の内容 報告事項及び審議事項について事務局が説明し、委員からの意見、質問に答えた後、令和4年度広島県献血推進計画について審議し承認された。

◎報告事項

- ・広島県の献血状況及び令和3年度広島県献血推進計画に対する実施状況について、事務局（広島県健康福祉局薬務課）から令和3年度広島県献血推進審議会資料により説明。

[質問・意見等]

(西本委員)

資料3ページで年代別献血者数という事でご説明がありましたけれど、その中で50代から60代が増えていますと説明がありましたが、若年層に力を入れながらもこちらのほうが増えているということで、50代から60代が増えた理由というのが分かれば教えていただきたい。

(広島県赤十字血液センター献血推進課三郎丸副部長)

ただ今のご質問ですが、若年層に力を入れながら50代60代が増えたという理由でございますが、今年度および前年度もそうですがコロナ禍で総献血者を確保するためにマスコミ等をしっかり利用させていただきました。その中でマスコミ等に答えていただけの方で50代60代の方が多かったというところですね。総献血者を50代60代の方で賄ったといったところが現状でございます。

(西本委員)

はい、ありがとうございました。50代60代が増えた理由がはっきりと分かれば、それが若年層に活かせるのかなという思いで質問させていただきました。ご説明いただいたように、やはり若年層の協力というのはこれまでのやり方含めてやはり増えないといけないということに対して、何故かというところしっかりと調べて対応する必要があるのかなと思いながら聞かせていただきました。ありがとうございました。

あともう一点、コロナ禍の大変な状況の中で献血ということで、協力を県のみなさんとしていただいたわけですが、現場を見に行かさせていただいた時に、やはりバスの中での血液採取なんですね、それはそれで良いと思うのですが、終わった後で献血に対してトラブル、この中での提供によるトラブルがなかったということでもよろしいでしょうか。もしあるのであれば、それははっきりとさせて今後活かしていく必要があるのかなと思いました。何かトラブル等はなかったのでしょうか。

(広島県赤十字血液センター献血推進課三郎丸副部長)

ただ今のご質問でございますが、献血を終了してからのトラブルといったところは特にございませんでした。ただ多くの方がいらっしゃる会場もございます。その点で血液センターとしても密といったところをすごく対策を行いながらやっているところでございますが、やはり献血者の方の中には、受付前にこれは密ではないかといったご意見をいただくこともございました。それは貴重なご意見として十分こちらのほうも受け止めながら対応させていただいたところが現状でございます。

(西本委員)

はい、分かりました。ありがとうございました。

(落久保会長)

ご質問いただきました。ありがとうございました。その他ご質問ご意見は

ございませんでしょうか。では、私から若者に向けてのSNSの利活用ってとても必要なことかと思うのですが、聞くところによるとというレベルではありませんけれども、若年層はもうグーグルは使わないと、フェイスブックは見ないと、何を見ているかといったらインスタを見ているのではないかとよく言われていますので、もしよろしければ検索もインスタを使ってみなさん検索を若い人たちはされているようですので、インスタグラムといういろんな新しい物が出てきておりますので、そういった物のご活用もご検討いただければと思います。

- ・赤血球及び血液製剤の在庫状況及び県内の献血の現状について、事務局（広島県赤十字血液センター）から令和3年度広島県献血推進審議会資料により説明。

〔質問・意見等〕

（落久保会長）

いろいろと取り組んでいただいております、ここに複数回の方が3.6回もやっていただいているというのに対して、本当に敬意と感謝を申し上げたいところでございます。

（西本委員）

ご説明ありがとうございました。ご説明の中にありました予約献血という取り組みについては、非常にいいなというふうに聞かさせていただきました。予約献血が、また待ち時間の短縮にも繋がるのだらうなというふうにも思います。ただ一方で、いきなりやって来る方に関しては、待ち時間があるということではやはり帰られる方がおりますので、その待ち時間の短縮ではなくて逃げないための施策を、例えば今コロナ禍で難しいですけれども、隣にコーヒーを飲む所とか、そういったその待っていただくというところに対しても逃げ方を捕まえる必要があるのかなと思いました。

それから、非常にいい待ち時間の短縮に影響する予約献血については、しっかりとまた広報していただきたいと思います。その中で、私が聞き逃したのかもしれないのですが、資料の9ページでご説明いただいた200mLと400mLというこれが200mLの方が82.5%と下がりましたと、それがコロナ禍の影響というところまでは聞けたのですけれども、何故コロナ禍の影響で200mLだけが下がるのか、コロナ禍ということであれば200mLの方が増えるのではないかと思った訳ですけれども、その理由を今一度お聞かせいただきたいのと、200mLと400mLとの差については、採取条件、要はもう200mLはいらないと、400mLしか採りませんというような採り方をしているところが増えたのであれば、それは400mLが増えるのだと思うので、このコロナ禍の影響というところに対してどうなのかなと、その影響は何だろうというふうに感じましたので、そこを教えていただければと思います。

（広島県赤十字血液センター献血推進課三郎丸副部長）

ただ今のご質問についてのご説明でございます。200mLの減少でございますが、単純に献血者の減といったところでは高校での配車がほとんどできておりませんでした。以前から広島県では200mL採血は10代限定に近いかたちで進めて参ってきました。高校への配車減が200ml減少の主たる要因です。また、供給量も200mLは令和2年度において少し減少しております。それもございまして、必要なものを必要な本数の確保といったところで減少しているところでございます。

現在の供給に対して、今年度も多く採血が減少すると賄えないのではないかといった疑問もあるかと思えます。この不足部分につきましては、採血は中四国9県で行っておりますので足りない分は他の県でといったかたちで200mLの確保はしているところでございます。

(西本委員)

はい。ありがとうございます。

(落久保会長)

教えていただきたいのですが、18ゲージという非常に太い針を使われると思いますが、採血、穿刺時の迷走神経反射の事故とかですね、神経痛の持続されている方はある程度やはり出てくるものなののでしょうか。針によるトラブル等ですけれども。

(広島県赤十字血液センター福原事務部長)

18ゲージというのは先生方も御存じだと思いますけど、かなり大きい針でこれもなかなか細くできれば我々もしたいところなのですが、どうしても短い時間で採血していただくためにはある程度の太さが必要です。迷走神経の損傷ですけれども、これはどうしても例え細いゲージであっても刺すところによって、そういった事例は少なからずございます。しかしながら、我々のところ、全国的にでもそうなのですけれど1パーセント以下のところで抑えてはおります。できるだけそうならないように採血にも心掛けておりますが、どうしても何人かはそういった方がいらっしゃいますので、その場合はちゃんと症状等を聞かさせていただいて、病院等しっかりフォローさせていただいております。ただ大体1年、3か月くらいで大体快方の方にはみなさん向かっていただけてます。

(落久保会長)

善意の方の献血行動に対して、やはり痛みとかですね、気分不良等がでると本当に申し訳ないという気持ちもございますので、そこはまた十分にしっかりやっていただければと思います。ありがとうございました。

#### ○審議事項

- ・令和4年度広島県献血推進計画の策定について、事務局（広島県健康福祉局薬務課）から広島県献血推進審議会議案書及び令和3年度広島県献血推進審議会資料により説明。  
[質問・意見等]  
(質疑応答なし)
- ・令和4年度広島県献血推進計画について審議し、原案どおり承認された。

#### ○その他

[質問等なし]

審議会終了

## 7 会議の資料名一覧

- 令和3年度広島県献血推進審議会次第
- 令和3年度広島県献血推進審議会資料
- 広島県献血推進審議会議案書